

講義内容一覧

2012年度冬学期 学際科学科・広域科学科

担当教員	科目番号・科目名			講義内容	曜限 教室
金子 知適	学部 (4学期)	08D12315	外国語論文講読Ⅰ	<授業の目標・概要> 情報分野の教科書を輪読して、内容を学ぶとともに、科学的な文章を読む力をつける。 <授業計画> 初回に割り当てを行い、2回目以降は担当者が発表する形式で進める。 <教科書> アルゴリズムに関するものから選ぶ予定である。 <履修上の注意> 毎週、事前に内容を読むための予習の時間を確保しておくこと。	
	学部 (6学期)	08610755	外国語論文講読Ⅲ		
山口 和紀	学部 (4学期)	08D12312	外国語論文講読Ⅰ	<授業の目標・概要> 英語の文献を読みこなす能力を身につけるとともに、文献の内容も理解する。 <授業計画> 初回に割り当てを行い、2回目以降は輪講形式で進める。 <教科書> データマイニングやデータ分析の教科書を読む予定である。 具体的にどの教科書にするかは初回に相談する。 <履修上の注意> 発表者以外も読んでくることが原則である。準備の時間を確保しておくこと。 <関連ホームページ> http://lecture.ecc.u-tokyo.ac.jp/~yamaguch/	
	学部 (6学期)	08610752	外国語論文講読Ⅲ		
金井 崇	学部 (4学期)	08D12314	外国語論文講読Ⅰ	<授業の目標・概要> 外国語の書籍および外国語の研究論文を材料にして輪講を行う。 <授業計画> 輪講開催の有無や内容に関しては、別途掲示する。 <教科書><参考書> 開講時に指示する。 <関連ホームページ> http://graphics.c.u-tokyo.ac.jp/	
	学部 (6学期)	08610754	外国語論文講読Ⅲ		
増原 英彦	学部 (4学期)	08D12316	外国語論文講読Ⅰ	<授業の目標・概要> プログラミング言語に関する教科書を輪講形式で読む。教科書は参加者の希望をとりいれて決定するが、プログラミング言語処理系に関する基本的な内容を扱ったものを想定している。 <授業の方法> 教科書の章や節ごとに担当者を決め、担当者の司会で進める。ただし、参加者全員が予め内容を理解してくることを前提とする。 <教科書> 参加者の希望を考慮して決定する。	
	学部 (6学期)	08610756	外国語論文講読Ⅲ		
山口 泰	学部 (4学期)	08D12313	外国語論文講読Ⅰ	<授業の目標・概要> 人間の視覚情報処理や計算機による画像・形状処理に関する英文の教科書ないし参考書を輪読する。 <授業の方法> 授業参加者から担当者を決めて教科書ないし参考書を輪読する。 <教科書> 講読対象の文献については、初回に参加者の意見を聞きながら決定する。 たとえば、以下の書籍などを考えている。 Marc Ebner: Color Constancy, John Wiley & Sons Inc, 2007 (ISBN 9780470058299) John P Frisby, James V Stone: Seeing 2nd ed., MIT Press, 2010 (ISBN 9780262514279)	
	学部 (6学期)	08610753	外国語論文講読Ⅲ		
開 一夫	学部 (4学期)	08D12311	外国語論文講読Ⅰ	<授業の目標・概要> Developmental Science, Cognition, Nature, Scienceなどに掲載された認知科学に関連する論文(特に発達科学に関連する論文)を読み、それに基づいて議論を行う。 <授業計画> 論文の割り当てを初回に行う。 <授業の方法> 1名から2名が発表を行う。 <履修上の注意> 全回出席することが望まれる。認知科学の基礎的知識について習得済みであること。	
	学部 (6学期)	08610751	外国語論文講読Ⅲ		
中村 政隆	学部 (4学期)	08D12317	外国語論文講読Ⅰ	<授業の目標・概要> 形式概念分析のテキストを読んで、閉包システムの応用の例を勉強する。 <授業計画> Ganter and Wille, Formal Concept Analysis, 1999, Springerを輪読する。 <教科書> Ganter and Wille, Formal Concept Analysis, 1999, Springer. <参考書> Davey and Priestley, Introduction to Lattices and Orders, 2002, Cambridge Univ. Press.	
	学部 (6学期)	0861075_	外国語論文講読Ⅲ	<履修上の注意> 毎回出席することを前提とする。 <その他> 基本的に事前の予備知識は必要ないが、著者達が東論の研究者なので東論の言葉が出てくることもある。それについては、私から説明する。	

※開講曜限・教室が未定の科目については掲示または(申込締切後)担当教員よりメールで連絡します。